

## 第4回アジア太平洋材料強度評価国際会議

岡山理科大学 工学部 機械工学科

教授 横山 隆

(平成2年度国際会議等参加助成 AF - 91036)

1. 開催日時 : 1991年10月8日~10月10日  
(10月7日~10月15日)
2. 開催の場所 : 中国・北京 (北京航空航天大学)
3. 往復経路のあらまし :  
成田 (東京) - 北京 - 上海 - 成田 (東京)
4. 助成金の主な支出先 :  
渡航費用および宿泊費用
4. 国際会議報告 :  
[要旨]  
10月8日~10月10日に、北京航空航天大学・逸夫科学館で開催された第4回アジア太平洋材料強度評価国際会議の最終日の午後の「Structural Strength」のセッションで座長を勤めると共に、同セッションで20分 (5分間の質疑応答時間も含む) の講演を行った。講演の内容は、純チタンと2種類のチタン合金の動的せん断応力-ひずみ関係の測定に関するものである。著者が設計・製作した衝撃ねじり試験装置によれば、新しい試験片形状を採用することによって、ひずみ速度  $\dot{\gamma} = 10^3$  /sでの動的せん断応力-ひずみ関係を、精密にしても短時間に決定することができることを発表した。また、純チタンは他の2種類のチタン合金よりもひずみ速度依存性が大きいこと (即ち、流動応力がひずみ速度と共に大きく上昇すること) を、実験結果に基づいて定量的に示した。  
座長を勤める講演件数が5件と通常の国際会議に比べて少し多いので、事前の論文の下見に、かなりの時間を要した。  
なお、正式な発表論文は、約260件 (中国160、日本46、韓国36、他にソ連、インド、香港、台湾、シンガポール、オーストラリア等) であり、2冊の論文集として International Academic Publishersより出版された。